

フクロウご夫妻 さまへ

谷戸沢処分場内に今年も素晴らしい巣箱をご用意しました！
～ 営巣場所を探しに来た「フクロウ」のビデオ撮影に初めて成功 ～

東京たま広域資源循環組合では、埋立てが終了した谷戸沢廃棄物広域処分場（東京都日の出町）内の自然環境が豊かになるよう、動植物及び希少生物の保全・生育に取り組んでいます。その取組の一環として、フクロウ用の大型巣箱を場内に設置したところ、2年続けてフクロウが営巣し、ヒナが谷戸沢の森の中に巣立っていきました。

夜間の様子を調査するため、昨年12月、巣箱内に赤外線ビデオカメラを設置しました。記録カメラには、営巣場所を探しに来た「フクロウ」のオスがメスを呼びよせる様子や呼び声などの映像（音声も含む。）の撮影に初めて成功しましたのでお知らせいたします。

谷戸沢処分場では、場内に池や草原があり、フクロウの餌となるカエルなどの小動物がたくさん生息しています。このため、フクロウは処分場内を狩場（餌をとる場所）として利用していると考えられます。



【 営巣場所を探しに来たフクロウの様子 】
（上：メス、下：オス 1月31日撮影）

現在、フクロウは営巣場所を探している時期です。例年ですと、2月中旬から3月頃にかけて抱卵を始め、4月にはヒナの姿を観察することができます。

当処分場内に、フクロウが営巣しましたら、皆さまにご報告するとともに、循環組合ホームページ上に「ふくろう巣箱の様子」を紹介してまいります。

（ただし、アライグマなどに襲われ、営巣を放棄する可能性もあります。）

フクロウのビデオ映像
（1分29秒）



←こちらをクリックしてください

巣箱内で撮影されたフクロウの様子（映像からのキャプチャー画像）



ここのおうちはどうかな？

オス・フクロウが、巣箱の確認に来ました。



来てごらん。居心地がいいよ？！

オス・フクロウが鳴き声でメスを呼び寄せました。



あら、本当。
ここは居心地が良いわね。

メス・フクロウも、巣箱の中に入ってきました。メスは卵を産み、抱卵すると、ひと月以上この巣箱内で暮らすことになります。

※ オス・フクロウとメス・フクロウと一緒に巣箱に入っている様子が、初めて確認されました。



今年はここに決めようかしら？

メス・フクロウは、卵を産む場所を確認するような「しぐさ」をして、森に戻っていきました。

【今回、場内の巣箱で撮影されたフクロウの様子】